

- * 音楽療法の実施（年2回・フィーリングアーツ・北村先生他）
- * 児童学習進路指導の一環として学習塾への修学・学習ボランティアの活用
- * 個別対応児童の家庭生活体験事業の実施（3名対象）
- * 各学校・教育機関との連携を図るための交流会・個別カンファレンスの実施（ランバス幼稚園・稗田小学校・原田中学校）
- * 各児童相談所との連携（電話相談・通所指導・心理判定・一時保護）
- * 情緒障害児短期治療施設および児童自立支援施設等と連携し、通所・相談事業の活用を行ないました。
- * 児童の自立支援に関して年2回の自立支援計画の策定と見直しを実施しました。
- * 自立のための食育訓練として調理実習（お楽しみ料理の会）を開催しました。（月1回：高齢児を中心に献立、買い物、調理、会食、後片付けまでを職員と実施し、児童の調理技術や食に関する意欲も上がり好評でした）
- * 児童の社会性の修得を目的としたアルバイト体験の実施（高校生7名）
- * 里親支援として週末里親・季節里親の開拓・マッチングを図り、新たに1名の児童が対象となり支援を受けています。（計4名対象）

2. 人材育成推進事業

- * 発達障害やADHD（注意欠陥多動性症候群）、不登校などの課題を抱える児童の支援のために、それらの事象を理解しどのように具体的に援助していくかを、様々な研修・ワークショップ・講演などを通して考え修得させる機会を担保しました。（CSP:コモンセンスペアレンティング・Sign's スタディグループへの参加・市民福祉大学主催の各研修会など）
- * 思春期の課題である性問題や虞犯行為、喫煙等の児童の課題に対して、施設関係、児童相談所のケースワーカー、医療関係、司法関係が連携し対策を協議するための合同研修会に定期的に参加しました。
- * 各研修会（全国児童養護施設長研究協議会・西日本児童養護施設職員研修会・近畿児童養護施設職員研修会）への参加および施設内研修報告会を実施しました。